銘傳大學九十學年度轉學生招生考試
七月三十日　第三節
應日　轉二
日語初級讀本　試題

一．單　字　1×20

a．標示下列漢字的假名。

①喫茶店　②会釈　③八百屋　④雰囲気　⑤盆踊り

⑥駆走　⑦徹夜　⑧秩序　⑨測ります　⑩戦います

b．外来語

①交通尖峰時間　②電腦首頁　③便利商店　④義工　⑤資源回收

c．寫出下列題目的日語說法。（包括漢字與平假名或片假名）

①隨意吃到飽　②手機　③結婚喜宴　④微波爐　⑤外行人

二．熟　語　：請翻譯解釋其中文意義。　2×5

1．雨をすれば影　2．怪かば都　3．河童の川流れ

4．石の上にも三年　5．鬼に金棒

三．助　詞　1×14

1．恋人はいつも約束の時間を守りません。これ（　①　）原因（　②　）、何回（　③　）けんかしました。

2．今度の見学（　④　）、特に印象（　⑤　）残ったこと（　⑥　）いくつ（　⑦　）あります。

3．今は千円（　⑧　）持っていません。

4．卒業する前に、色々な技能（　⑨　）身（　⑩　）付けようと思っています。

5．変なにおい（　⑪　）したので、目（　⑫　）覚ましました。

6．バスは飛行機（　⑬　）速くないが、自転車（　⑭　）速い。

四．選　擇　：選択最適当的答案以完成各句。　2×6

_____1．「_____、お嬢さんと結婚させてください。」
　　a．どうにかして　b．どうぞ　c．どうも　d．どうか

_____2．_____冗談にしても、そんなこと言わないほうがいいです。
　　a．どんなに　b．たとえ　c．もし　d．いったい

_____3．授業中、よく先生に_____たりしました。
　　a．本を読ませ　b．本を読まれ　c．本を読まされ　d．本を読まれさせ

_____4．あら、電気_____。あの子はまだ寝ていないようだ
　　a．を付けている　b．が付けている　c．を付いている　d．が付いている

_____5．部屋の壁には、家族の写真_____。
　　a．が貼ってある　b．が貼っている　c．を貼ってある　d．を貼っている

_____6．これは社長の奥さんが家の娘に_____人形です。
　　a．さしあげた　b．やった　c．いただいた　d．くださった

五．句　形：從a～l中、選出適合者完成各句。
（答案以英文字母表示即可且不可重複使用）　2×10

1．暑い＿＿＿＿、食欲がない。
2．私の故郷は地図に＿＿＿＿書いてない小さな村です。
3．年をとる＿＿＿＿、小さいことに気になるらしい。
4．日本人は旅行に行く＿＿＿＿、その土地のお土産を買う。
5．お金もない＿＿＿＿、高いものばかり買う人は困ります。
6．電気のない生活は不便＿＿＿＿。
7．日本の家に上がる時は、くつを脱ぐ＿＿＿＿。
8．この頃は遊ぶ＿＿＿＿、アルバイトをする学生が多いそうだ。
9．寒い日には暖かい温泉に入る＿＿＿＿。
10．今、学費はアルバイトで稼ぐ＿＿＿＿。

a．ために　b．たびに　c．ものの　d．ようにしている　e．さえ
f．せいか　g．に違いない　h．に限る　i．くせに　j．とともに
k　ことになっている　l．ように

六．待遇表現：視前後文將畫線部分改成「尊敬語」或「謙讓語」。2×5
1．鈴木：「コンピューター会社を経営している王社長を知っていますか。」
（　①　）　（　②　）
陳：「はい、…。」

2．学生：「すみません、田中先生にちょっと聞きたいことがあるんですけど…。」
（　③　）
秘書：「あ、先生はさっき帰られましたよ。」

3．これは先生の奥さんが作ったお寿司です。
（　④　）

4．秘書：「今朝の新聞を読みましたか。」
（　⑤　）
部長：「うん、読みました。」

七．短文閱讀　2×7

日本の道の歴史を見ると、例えば東海道のように、海沿いの都市を結ぶ道は、江戸時代になってなら整備された「政治の道」とでもいうべき、わりに新しい道が多いのです。（a）海と山の中を結ぶ道は、はるか昔に作られた、山の人々と海の人々がお互いに産物を交換しあった「くらしの道」でした。この道を通って、多くのものが海から山へ、そして山から海へ運ばれました。その中でもっとも大切なものが塩だったと言えるでしょう。古くから開かれた、山と海を結ぶ道の多くが「塩の道」と呼ばれたことからも、塩が大切だったことがうかがえます。

日本では塩は海水からしか取れないので、当然、塩を作るところも海岸沿いにしかありません。（　d　）、塩は自分たちの生命のささえとも言える大切なものでした。また、日本は山の多い国で、海と山を結ぶ道は、険しい道がほとんどでした。塩は、舟で海から川に入り、小さな舟に積みかえて、さらに上流まで運ばれましたが、流れの急な川の多い日本では、さほど上流までは行けません。

――――――― 中略 ―――――――

こうして運ばれた塩を、山に住む人々が、いかに大切にしていたかは、古くから残る風俗、風習の中にも見ることができます(e)。たとえば、九州の山の中には、子供が生まれると塩売りに名づけ親になってもらうところがありました。苦労して塩を運んでくる塩売りと山の人は、商売の域をこえて、強いきずなで結ばれていたのです。

塩の道を通って、海から山に運ばれたものの中に、塩魚も多くありました。日本でも、塩は保存食を作るために使われ、塩魚はその代表的なものと言えます。塩魚は山の人々が味わえる、数少ない海の幸として貴重なものでしたが、ほかにも大切な役目(f)がありました。稲わらの俵で塩を運んだ時代では、雨にぬれればすぐに溶け出してしまう塩を遠くまで運ぶことは、大変な仕事だったのです。その点、塩魚は溶けませんから塩魚を食べれば塩も補給できたというわけです。

こうして人々は、塩をはじめ、道を運ばれてくるさまざまなものを通して、お互いのくらしをささえあっていました。塩の道は海の文化と山の文化をつなぎ、人々の心を結んだ道でもあったのです。

（半田　昌之「塩の道」『人間の知恵２４』）

（　）１．（a）にいれる言葉として最も適当なものはどれか。
①一方　②すると　③だから　④やはり

（　）２．（b）「その」とはどんなものか。
①海でとれた最も大切な塩　②山でとれた最も大切なもの
③人々の生活に必要なもの　④海でとれた生活に必要なもの

（　）３．（c）「塩の道」と呼ばれたのはなぜか。
①塩を運ぶために作られた道だったから
②くらしの道と塩の道は同じ道だったから
③海のものを山へ運ぶための道だったから
④塩が山へ運ばれる代表的なものだから

（　）４．（d）にいれる最も適当なものはどれか。
①海岸沿いにくらす人々にとって　②山にくらす多くの人々にとって
③日本にくらす多くの人々にとって　④どんなところでくらす人々にも

（　）５．どんなことを（e）「見ることができる」と言っているのか。
①塩を山の人が大切にしてきたこと　②古くから残る風俗や風習
③塩売りに名づけ親になってもらうこと　④苦労して塩を運んでくる塩売り

（　）６．どういうことが（f）「大切な役目」と言っているのか。
①海の幸として貴重なものであること
②保存食として代表的なものであること
③稲わらの俵で塩を運ぶということ
④山の人々が塩分を補給できること

（　）７．内容に最も合っているものを選べ。
①「政治の道」と「くらしの道」と「塩の道」があった。
②塩の道は、海の人々が山の人々のために作った道である。
③山の人々は塩を運んでくれる海の人々にささえられていた。
④山の人々と海の人々は互いにささえあってくらしていた。

本試題係兩面印刷

試題完